

第2次北見市産業振興ビジョン(案) の概要について

平成25年11月19日

北見市

目標

地域資源を生かした産業活力の創造

- ◆ 自然～オホーツク海、サロマ湖、常呂川、石北峠 等
- ◆ 農水産物～たまねぎ、ビート、ホタテ、カキ 等
- ◆ 観光～温根湯温泉、流水、花、地ビール 等
- ◆ 歴史・文化～ハッカ、常呂遺跡、焼き肉 等
- ◆ 学術～北見工業大学、北海道赤十字看護大学 等

産業資源



第1次産業

第2次産業

第3次産業

第6次産業



地域経済
の発展

方針1

地域の魅力を生かした産業の強化

地域の優位性や特性を生かして、既存産業の一層の成長を目指します。

施策

①第1次産業の地域ブランド化の推進

「クリーン農業」や「つくり育てる漁業」等の確立により、「食」の安全安心を生かしたブランド価値の強化を図ります。

②新北見型観光推進プロジェクトの推進

SNS (twitterやfacebook等) を活用した観光資源の情報発信や観光案内等のホスピタリティの強化、広域観光に向けた他都市との連携強化等により、観光関連産業の振興を図ります。

③地域資源を活用したエネルギー施策の推進

太陽熱や雪氷熱、木質バイオマス等をエネルギー源とする発電システムの導入によるエネルギー関連産業の振興を図ります。

④地域コミュニティを高める商業活性化の推進

地域商業を生活インフラの一つと捉え、地域コミュニティの核となる商店街やまちなかの賑わいの創出を図ります。

方針2

地域の未来を切り開く新産業の創出

多様な業種や産学官の連携、高付加価値化により、起業や新事業の創出を図り、新たな市場の開拓による需要の拡大を目指します。

施策

①産学官連携による試験研究・商品開発の推進

産学官が連携した取り組みによる新商品の開発等の推進を図ります。

②第6次産業化と高付加価値型産業の推進

農林漁業者等による生産から販売までの一連の取り組みや農水産物を加工した新商品の開発により、1次産業の安定化と地産地消による域内循環の活性化を図ります。

③販路拡大による市場の開拓

中小企業や起業まもないベンチャー企業等の新事業・新商品の販路拡大に向けた商談会やコーディネート活動の実施、インターネット販売による拡販など、市場の開拓を図ります。

④地域課題を解決するコミュニティビジネスの推進

高齢社会の需要に応じた介護・福祉サービスの充実や中心市街地活性化の推進により、コミュニティビジネス（ソーシャルビジネス）を新成長産業として、地域社会の課題解決と雇用促進を図ります。

方針3

地域を支える強い産業基盤の構築

地域に活力を生み出す人材の育成と生産力の高い先端技術・設備の導入により、域外との競争に負けない強い産業の形成を目指します。

施策

①持続可能な生産環境の整備

先端技術や設備の導入や環境整備により、低コストで高品質な生産技術の確立を図ります。

②地域経済をリードする中小企業の経営基盤等強化

中小企業の機動力と結束力を生かして、競争に負けない地域力の向上を目指し、中小企業の企業基盤の強化を図ります。

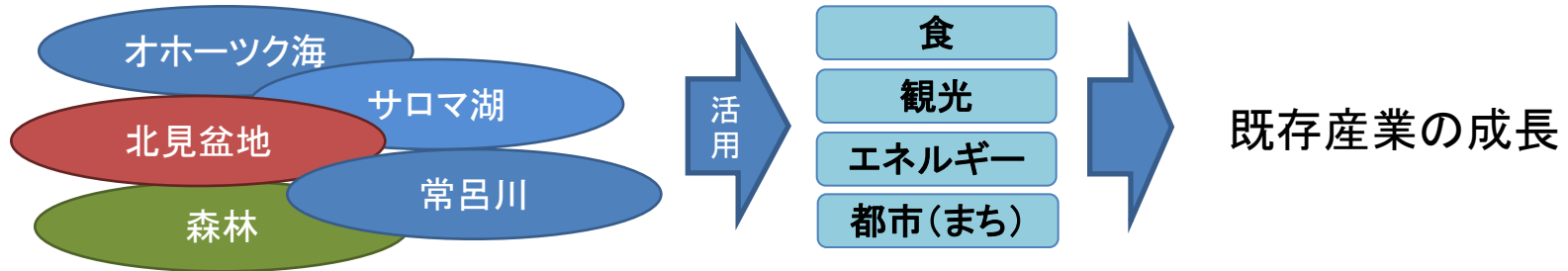
③地域産業を支える人材の育成と労働環境の改善

後継者や担い手の確保により産業（事業）の継続を図るため、経営基盤の強化や労働環境の改善を図ります。

基本方針(1)

地域の魅力を生かした産業の強化

豊かな自然という地域の優位性・特性を最大限に引き出すべく、「食」・「観光」・「エネルギー」・「都市(まち)」を基本施策の柱に位置づけ、既存産業の一層の成長を目指す

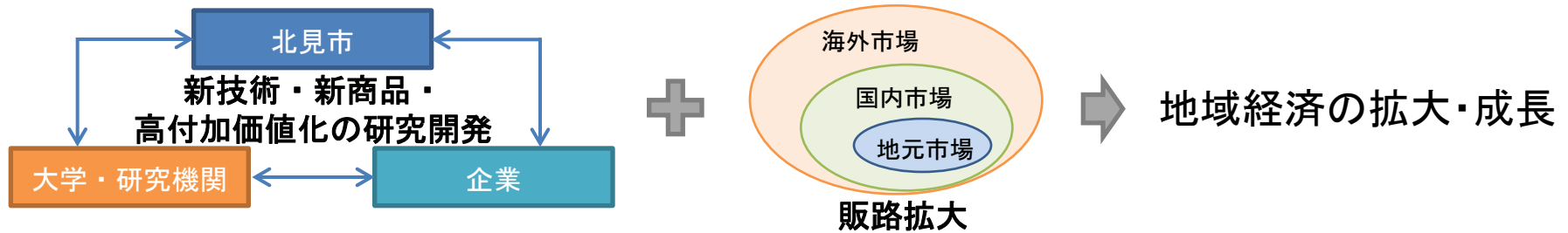


【食】 第一次産業の地域ブランド化の推進	【観光】 新北見型観光推進プロジェクトの推進	【エネルギー】 地域資源を活用したエネルギー施策の推進	【都市(まち)】 地域コミュニティを高める商業活性化の推進
「安全・安心」な農産物や海産物を地域のブランドとして確立することにより、消費者や加工業者から選ばれる農漁業を推進する。	ニーズに合わせた観光スタイルの企画、観光客に対するおもてなし強化(案内表示、言語、文化配慮等)、適確なプロモーションにより、地域の観光ポテンシャルを最大限に引き出す。	北見市の自然環境や研究・開発環境の優位性を生かし、太陽光エネルギーやバイオマスエネルギー等のエネルギー関連産業の発展を推進する。	北見市は、商店街を形成し賑わいを創出するだけでなく、生活インフラ機能を担うなど、オホーツクの商業都市として今後も発展しなければならない。このことから、中心市街地を基本として商業の発展を推進する。

基本方針(2)

地域の未来を切り開く新産業の創出

産学官の連携により地域独自の製品・サービス・技術等を開発し、地域に新たな産業を創出することにより他の市場との競争力強化・差別化を図るとともに、第1次産業から第3次産業で産出される価値の地域内循環と地域外からの価値獲得を推進、コミュニティビジネスへの事業展開等により、地域経済の拡大を目指す。



産学官連携による試験研究・商品開発の推進

市や企業、北見工業大学やオホーツク圏地域食品加工技術センター、北見工業技術センターなどが連携し、新商品の開発等を推進する。

地域循環型都市の実現に向けた第6次産業化と高付加価値型産業の推進

生産、製造・加工、販売によって生み出された価値を地域内で循環させることにより、域内投資の活性化を図る。また、地場産品の製造・加工による高付加価値化により、第1次産業から第3次産業までの連鎖を図る。

販路拡大による市場の開拓

域外市場において新たな販売ルートおよびチャネルを開拓し商流の確保を図る。

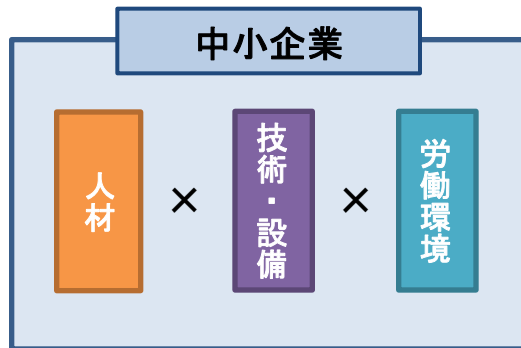
地域課題を解決するコミュニティビジネスの推進

多種多様な社会課題の解決に向けて、住民、NPO、企業等が協力しながらビジネスの手法を用いて取り組むコミュニティビジネスを地域に普及させ、地域における新たな起業や雇用創出を推進する。

基本方針(3)

地域を支える強い産業基盤の構築

環境の変化に柔軟に対応できる人材の育成や生産力の高い先端技術・設備の導入、女性・若者が能力を活かして生き生きと働ける労働環境の整備等、地域産業を支える強い社会基盤を構築し、安定した産業集積を確保する。



社会基盤の強化 → 安定した産業集積の確立

持続可能な生産環境の整備

先端技術の導入による農作業の効率化や農地の流動化、経営の効率化、生産法人の設立、海洋環境保全、漁港管理等により、生産性の高い産業基盤の構築を図る。

地域経済をリードする中小企業の経営基盤等強化

中小企業振興基本条例の普及と各施策の推進、委託事業や補助事業のコーディネート等の推進により、中小企業の経営安定化や事業機会の創出を図る。

地域産業を支える人材の育成と労働環境の改善

労働環境の改善や第1次産業の担い手育成支援、技術向上、食育・木育の推進による人材の育成を推進し、持続可能な地域産業の構築を図る。